

会員だより

(今回は、青森市、松江市、鹿児島市からご寄稿していただきました。
なお、この会員だよりはホームページにも掲載しております。)

青森市企業局交通部

青森市営バスは、今年で 90 周年を迎えました

青森市営バスは、公営交通（バス事業）としては、東京都に次いで全国で2番目に長い歴史を持ち、平成 28 年 3 月 6 日をもって「創業 90 周年」を迎えました。

これまで、市営バスをご利用し、支え続けてこられました市民の皆様にご感謝申し上げます。

創業 90 周年を記念してさまざまな事業を実施しましたので、ご紹介します。

青森市営バスは、これからも、皆様の生活に欠かせない“市民の足”として、職員一人一人がお客様の視点に立ち「安全・安心・快適」な輸送サービスの提供に努めて参ります。

【青森市営バス創業 90 周年記念事業】

◇青森市営バス創業 90 周年記念ロゴマーク



◇各種イベントへの参加

青森春まつり（4月29日・30日）

青森春まつり会場内「市営バス 90 周年記念イベント」には、あいにくの悪天候（雨・風・低温）にもかかわらず、2 日間で延べ 200 名を超えるたくさんの皆様にお越しいただきました。

＜イベント内容＞

- ・ラッピングバスの展示(写真右)
(春まつり特別バージョン)
- ・懐かしのパネル展
- ・車いす乗車体験
- ・運転席乗車体験



八甲田丸みなとフェスタ

<イベント内容>

- ラッピングバスの展示(写真右)
(夏まつり特別バージョン)
- 懐かしのパネル展
- 運転席乗車体験



今後のイベント参加予定

8月28日(日) しんまちふれあい広場

9月4日(日) バスマつり

※ラッピングバス(秋バージョン)を展示予定。

◇懐かしのパネル展

交通部東部営業所 1階ロビー

- 開催期間 平成28年5月30日～年度内(予定)



ねぶたの家 ワ・ラッセ

- ・開催期間 平成 28 年 7 月 1 日～10 日



市役所市民サロン

- ・開催期間 平成 28 年 8 月 2 日～10 日



◇デザインバス運行

青森市営バス創業 90 周年記念事業の一つとして、青森南高等学校の生徒がデザインした「デザインバス」を運行しています。

青森南高等学校の美術部と漫画研究同好会の皆さんが制作したすばらしい作品を、是非ご覧下さい。

- ・運行期間 平成 28 年 6 月 25 日～平成 29 年 3 月 31 日（予定）



(写真左)

制作者

青森南高等学校 美術部
南澤優希さん

(写真右)

制作者

青森南高等学校 漫画研究同好会
太田なぎささん、今田千春さん、
鶴谷茉央さん、真野紗香さん、
佐藤鈴華さん、白戸樹梨さん、
澤田穂乃香さん、下山未来さん



◇青森市営バス創業 90 周年記念バスカード発売

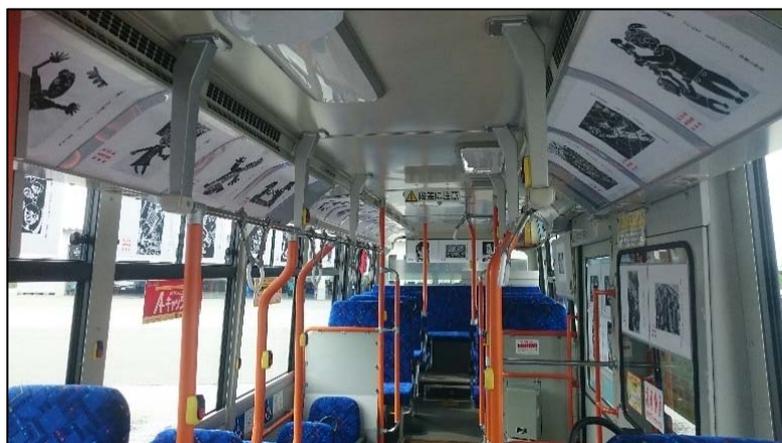


種 類 普通 5,000 円券(利用額 5,850 円)
発売日 平成 28 年 7 月 4 日 (月) から

◇夏休みミニギャラリーバス運行

「第28回 棟方志功賞版画展」において、「棟方志功賞」及び「金賞」を受賞した子どもたちの作品、計43点を展示した「夏休みミニギャラリーバス」を運行いたします。この機会に子どもたちが制作したすばらしい版画をご覧ください。

・運行期間 平成 28 年 7 月 22 日～8 月 23 日



◇「青森市営バス90年のあゆみ」(小冊子)の作成

この中から、創業当時から現在に至るあゆみを抜粋してご紹介します。

【創業当時】

<大正15年3月6日>

篠原善次郎氏が乗合自動車 6 両に運営資金 15,000 円を添えて、氏の運営する乗合自動車運送事業を青森市に寄贈し、現在の「青森市営バス」が発足。

<大正15年4月1日>

青森市営バス営業開始

【物価の上昇と電気バスの運用】

燃料高騰への対応策として戦前からの木炭バスに加え、昭和 24 年 1 月から電気バス 7 両の運行を開始したが、貸切事業の開始と燃料事情の好転に伴い、昭和 26 年には木炭バス・電気バスを廃止し、ガソリン車とディーゼル車の 2 種類とした。

【青森バスの買収】

昭和 29 年 1 月に、青森バス株式会社を買収したことにより、路線延長は 48.5 キロから 225.1 キロへと 4 倍以上に拡大し、車両数も 87 両に増加した。

路線が大幅に拡大したことにより、市町村合併促進の大きな要素となり、青森市の都市基盤形成の基礎的な役割を果たすこととなった。

【経営の悪化と効率化の推進】

国の高度経済政策によりモータリゼーションが進行し、交通事故の増加や運行効率の低下による乗客の減少に加え、人件費や輸送原価の上昇により経営は悪化し、昭和 35 年度以降、欠損金が生じることとなった。

<昭和 41 年 9 月 5 日> ワンマン化を本格的に実施（交通部前～藤田組経由～青森駅ほか）

【第一次・第二次財政再建計画の策定】

<昭和 42 年 3 月 25 日> 自治大臣から、青森市自動車運送事業財政再建計画の承認を受ける（41 年から 8 ヶ年）

<昭和 49 年 3 月 29 日> 自治大臣から、青森市自動車運送事業再建計画（第二次財政再建計画）の承認を受ける（48 年度～10 ヶ年）

<昭和 58 年 3 月 31 日> 青森市自動車運送事業第二次財政再建計画の終了



青森駅前の様子(昭和10年頃)



当時のバス(昭和29年頃)

【第三次・第四次経営健全化計画の策定】

＜昭和 63 年 11 月 30 日＞ 県知事より経営健全化団体の指定を受け、63 年度を初年度とする 7 ヶ年の路面交通事業経営健全化計画（第三次経営健全化計画）を策定

＜平成 7 年 3 月 31 日＞ 路面交通事業経営健全化計画（第三次経営健全化計画）の終了

＜平成 13 年＞青森市自動車運送事業経営健全化計画（第四次）を策定（13 年度～17 年度）

【民間委託の導入】

平成 16 年 2 月、市営バス事業の諮問機関である青森市自動車運送事業運営審議会から、「市営バスが将来にわたって走り続けるための基本方針」について提言があった。

これを受けて、平成 16 年 4 月に東部整備工場業務の一部を、また、同年 7 月には西バイパス・新田循環線、矢田・滝沢線、滝沢線の 3 路線を民間事業者へ委託した。

＜平成 17 年 2 月＞ 市営バス再構築プラン策定（18 年度から 22 年度までの 5 ヶ年計画）

【県内初のノンステップバス導入】

＜平成 17 年 4 月 1 日＞県内初のノンステップバス導入（2 両）

県内初となる大型ノンステップバス 2 両を購入し、当該路線においても運用することとした。合併直前の 3 月に市役所前で実施した一般公開には、多くの市民が訪れ、県内初の新型バスに関心が集まった。

県内初の大型ノンステップバス(写真右)



【バス交通に関する戦略と経営改善計画】

青森市では、地球温暖化や高齢・人口減少社会の進行などによる交通環境の変化に対応するため、平成 21 年 10 月に、平成 32 年度までを計画期間とする「青森市総合都市交通戦略」を策定し、持続可能な公共交通体系の整備や計画的な街路整備などを通じて人と環境にやさしい交通環境の形成を目指すこととした。

さらに、平成 23 年度には、この戦略の重点戦略である「バス交通に関する戦略」を策定し、持続可能なバス交通としていくための抜本的な路線再編と運営方法の見直しに着手した。計画期間は平成 33 年度までの 11 年間で、分かりやすく利用しやすいバスへの路線再構築と車両の効率的な運用を図るため、骨格線・幹線・支線の 3 つに区分し、骨格線・幹線を市営バスが、郊外の支線を市が民間に委託する市民バスが担うこととした。

【県内初のバイオディーゼル燃料（BDF）バス運行】

平成 26 年 4 月、企業としての環境への貢献と市が推進するリサイクル活動へ貢献するため、路線バスとして県内初のバイオディーゼル燃料（BDF）によるバス 1 両の運行を開始した。また、翌 27 年 4 月には 2 両に拡大し運行している。（写真右）



【バスの利用促進に向けた新規事業】

＜平成 26 年 9 月 1 日＞車いす乗車体験実施(写真下)

障がい者や高齢者の社会参加支援の一環として、車いす利用者や介助者が安心して市営バスを利用できるよう、車いす乗車体験を実施した。

車いすを利用される方に低床バスへの乗車方法などを体験していただくことで、乗降時の不安や抵抗感などを解消いただけたほか、社会的な関心も高く、多くのマスメディアに取り上げられた。



＜平成 27 年 4 月 1 日＞

通勤定期券所持者特別割引制度（エコ 100 定期）・運転免許自主返納者支援事業の開始

＜平成 27 年 11 月＞ノンステップバスの導入（中型 15 両）

平成 16 年度に、大型ノンステップバス 2 両を実験的に導入したものの、平成 22 年度の新車購入再開後は冬期間における車体下部と路面との接触を避けるため、ワンステップバスを導入してきたが、国が推進するバリアフリー化への対応や車両の改良、利用者からの要望などを踏まえ、平成 27 年度購入分からノンステップバスへ切替えることとした。

